

代表質疑・質問



医療費助成の財源は財調を 取り崩すべき！



日本共産党湖南市議員団 ● 立入 善治 議員

問 庁舎建設について
資材費や労務費の高騰が今後も続く見込み。市町村役場機能緊急保全事業の起債は、平成32年度までに実施設計に着手していれば、期間延長の制度改正により事業の検討、調整などに時間確保が若干でき、実質の延長は1年となっています。

問 国は消費税10%の増税で幼児教育・保育「無償化」とあるが。

答 消費税の引上げで幼児教育・保育無償化を実施。財政負担は初年度、国費負担で賄い、2年度目より私立幼稚園、保育所および認定こども園については、国1/2、県1/4、市1/4の負担。公立幼稚園、保育所、こども園は、市が10/10を負担することになります。

問 「中学卒業までの

医療費助成」は財政調整基金を使うべきでは。

答 中学卒業までの医療費助成に加え、家庭的保育支援手当の創設や高齢者の日中移動支援に多額の財源が必要、固定資産税の税率の引き上げや都市計画税の導入を検討・議論を進めたい。財政調整基金の取り崩しは、財源調整や災害時などの緊急時の財政需要に対処するための資金の積立てという位置づけであり、経常的に必要な支出には適さない。

問 落合川橋の掛替について

答 平成31年度に湖南市橋梁長寿命化計画を策定し、橋梁の計画的な対策工事を実施していく予定。落合川橋につきましては、新元号2年度に橋梁修繕設計業務委託を発注する予定をしております。



湖南市まちづくり、 「誕生時と今」を問う



無所属の会 市民の力 代表 ● 望月 卓 議員

問 湖南市誕生時の思いと現状について

答 新生湖南市、誕生から、「夢と希望のまちづくり」を含む5つの柱で新しい「まちづくり」に取り組んで来ました。道路網の整備事業が、街に元気と活力を！イオンタウン湖南、こびあみらい公園湖南の開業により、賑わいを！地域学校協働本部の導入により、若さと元気を！本年は、「(仮称)放課後学習広場」の実施などで、家庭学習や自主学習の推進を！健康づくりをスポーツや地域社会に拡充することで、健康寿命の延伸を！地域自然エネルギーを地域づくりにつなげて、地域振興を！7つのまちづくり協議会の指定管理により地域コミュニティを！

これからは、市民の安心安全を確保し、移

住定住の促進や起業支援、女性や高齢者、障がい者の働く場づくり、若い世代の皆さんがわくわくしてまちづくりに参画出来るしくみづくりや、短期的に人口を増加させ、地域経済を支える取組みを進め、市民の真の幸せと湖南市のさらなる発展を目指して市政運営に当たる所存であります。

問 新たな財源確保への取組みについて

答 社会保障の充実や、地域の強靱化に関する事業の展開を、持続可能な社会の中で図るには、今ある市税の税率改正や新税設置を検討する時期を迎えており、固定資産税の税率の見直しや、都市計画税の導入など「新たな財源」についての議論の取組みについては、議会の意見を伺いながら検討を進めて参りたい。と考えております。